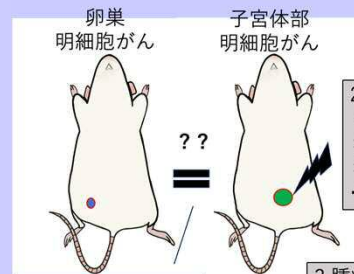


子宮明細胞がんの腫瘍免疫と最適な治療法の検討

(助教・加嶋洋子, y.kashima@med.kindai.ac.jp)

Research Area

1. 腫瘍相同性、組織特異性の検索
2. 最適な治療法の検索
3. 腫瘍免疫機構の解明



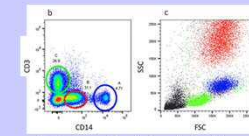
1.腫瘍相同性、
組織特異性の検索

2.最適な治療法の検索
・ICI
±化学療法
±マラルチキナーゼ阻害薬
→治療の個別化

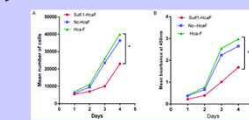
3.腫瘍免疫機構の解明

本研究の概念

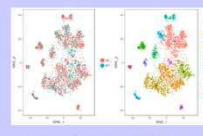
卵巣、子宮体部明細胞がんマウスモデルを使用し、腫瘍の相同性、組織特異性の検索、腫瘍免疫機構の解明とともに、治療の個別化を図れるよう、最適な治療法の検索を行う



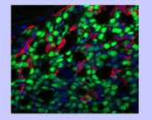
フローサイトメトリー



proliferation assay



シングルセルRNA
シーケンス



多重蛍光免疫染色
空間解析

薬剤投与による腫瘍浸潤免疫細胞の分布と機能変化の解析

Recent Activities

- Frequent PIK3CA mutations in eutopic endometrium of patients with ovarian clear cell carcinoma. Mod Pathol. 2021